

小さな地域貢献が望外の評価に 月寒小学校から miruca に感謝状

平成 29 年 4 月 20 日

miruca エイチ・テー・ビー映像株式会社は、平成 29 年 4 月 20 日(木) 札幌市立月寒小学校(斉藤拓也校長)から「優良 PTA 団体校として文部科学大臣表彰を受けるのに大きく貢献した」として、感謝状を授与されました。

月寒小学校では、放課後の校庭で遊ぶ児童に帰宅を促す音楽として長年使ってきた第二校歌「叙情歌 月寒(つきさっぷ)の少年」(注)の音源が老朽化し、更新もままならず、困っていました。伝え聞いた miruca では「全校生徒の合唱を録り、新音源にしては」と提案し、技術協力を申し出ました。これに敏感に反応した同校 PTA は自ら推進役となって、昨年の開校 135 周年記念事業の一環として、全校合唱の最新機器による録音を実現させました。第二校歌の音源を守る一連の P T A 活動について、同校は、miruca が録音の模様を撮って自主制作した DVD を添えて監督官庁に報告したところ、文科省の目に留まり、めでたく平成 28 年度優良 P T A 団体校に選ばれ、大臣表彰を受けたものです。

月寒小学校は H T B 社屋とは指呼の距離にあり、ミニバスケットなどでもつながりがあります。miruca の技術力を生かした小さな地域貢献が、大きな花を咲かせた例としてご案内させていただきます。



左：miruca 青木幹雄 総務部長 右：月寒小学校 斉藤拓也校長

注) 昭和 3 0 年代前半の月寒周辺の情景を映した「叙情歌 月寒(つきさっぷ)の少年」は、美空ひばりや北島三郎らに数々のヒット曲を提供してきた星野哲郎・船村徹コンビがつくり、昭和 3 5 年にレコード化。その後、月寒の町内会行事などで細々歌われるだけだったが、平成 7 年、古くから月寒地区で暮らす人々が「月寒の少年」市民会議を結成し、学校・地域ぐるみで名曲を歌い継ごうと声を上げ、以来「ご当地ソング」として見直された。